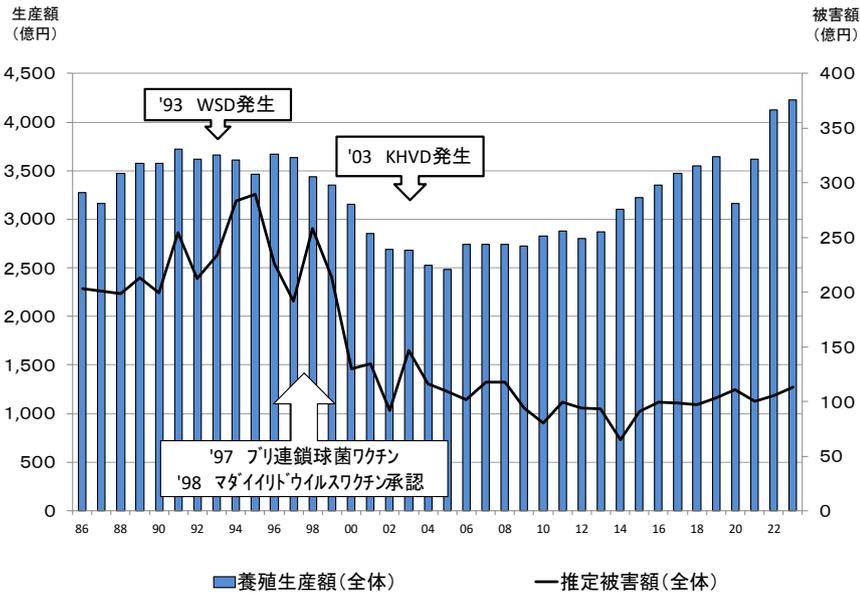


魚病被害の発生状況（確定値）

1. 魚病被害の発生状況の推移（全体）



令和5年（2023年）の魚病推定被害額は、約113億円（前年約105億円）であり、被害率（＝魚病推定被害額／養殖生産額）は2.7%（前年2.5%）であった。

このうち、こい（食用）、あゆ、くるまえび、その他のさけ・ます類等が増加し、ぎんざけ、その他の海産魚類、にじます、ひらめ等で減少した。

（※）魚病推定被害額（全体）：海面は、まあじ、ぶり類、まだい、ひらめ、ふぐ類、ぎんざけ、しまあじ、くろまぐろ、その他の魚類、くるまえび、及び内水面は、にじます、にじます以外のます類、あゆ、こい、及びうなぎに係る魚病推定被害額の合計。

注) 1 養殖業者へのアンケート調査のデータに基づき作成。

2 魚病推定被害額は、「（農林水産統計による生産額÷調査経営体の生産額）×調査経営体の被害額」によって算出。

2. 魚病被害の発生状況の推移（魚種別）

